

至徳

射水市立金山小学校 学校だより



令和4年2月9日

第19号

これは何の卵でしょう？

先月末、市のビオトープアドバイザーの方が、「野手のビオトープに〇〇の卵があったので、子供たちに紹介してください」と持ってきてくださいました。〇〇は他の地区には殆ど生息しないとても珍しい生き物なのだそうです。折角なので、廊下に水槽を置き、展示することにしました。そして、下のような貼り紙をしました。

水そうの中にあるものは、金山にすむめずらしい生き物のらんかい（たまごのかたまり）です。この生き物は金山以外の地区では、もう見るできないほどめずらしいそうです。どんな生き物だと思いますか。

「水の中にあるから、魚かな？」

「水の中で生まれても、大きくなったら土の上で生活する生き物もいるから、カエルとかイモリのような生き物かな？」

いろいろ考えられますね。「きっとこういう生き物だろう」と思うものがあれば、紙に絵や言葉でかいて教えてください。全校のみんなに紹介します。

これを読んで、5年生と2年生が一名ずつ、名前や絵で予想してくれました。興味をもって見てくれたこと、自分の考えを伝えてくれたことがとても嬉しかったです。

ビオトープアドバイザーさんの話によると、「以前、絶滅危惧のレッドリストになっているホクリクサンショウウオの卵が金山地区で見つかり、それを『ねいの里』で繁殖させることになり、少し数が増えた。金山では今でも自然繁殖している。

金山にはそういう貴重な自然が残っている」との話でした。この自然を大切にしていきたいものですね。

さて、今回は何の卵でしょう。少しずつ変化が見られます。孵化するのを楽しみに待ちたいと思います。



学習参観

5日（土）、学習を参観してくださり、ありがとうございました。当初の予定では、来校していただくことになっていましたが、新型コロナウイルス感染症が広がりを見せていることから、リモートでの参観に変更しました。撮影用のタブレットが固定であったため、

見えにくいこと、聞こえにくいことがあったと思いますが、お許してください。

さて、授業は如何でしたでしょうか。それぞれの授業において、一年間の成長ぶりを感じていただけたのではないかと思います。学習において「成長を支えてくださった家族の方への感謝」を伝えた学年においては、これまでの関わりの一コマコマが思い出されたのではないのでしょうか。

子供の吸収力は大きく、授業での学びは勿論ですが、その他、「友達との遊び」「縦割りでの清掃」「委員会やクラブ活動」「先生との会話」等々、いろいろな場面での学びを身に付けていきます。それが今回の「生活科」「学級活動」「図画工作」「体育」「道徳」「総合的な学習の時間」の授業の中での発想や発言、態度に反映されていたと思います。学校生活での学びの成果として伝わっていたら幸いです。



〔1年：生活科〕



〔2年：学級活動〕



〔3年：図画工作科〕



〔4年：体育科〕



〔5年：道徳科〕



〔6年：総合的な学習の時間〕

学習参観の続き

学習参観の日は、たくさんの雪が積もっているということもあって、多くの保護者の方が迎えに来られました。それだけであれば時にあることですが・・・。

何と驚くことがありました。子供たちが出て来るのを待っている間、保護者の方々が、スコップやスノーダンプをもって除雪作業をしてくださったのです。またその後、校区の除雪を担当してくださっている中波俊一さんが、除雪時間外でありながら、重機での除雪をしてくださいました。

私がこのことを知ったのは、子供たちが帰ってしまってから。有り難いやら申し訳ないやらの思いでいました。そして、改めて、地域全体で子供たちを、また学校を支えてくださっていることを実感しました。

保護者の方々、中波さん、ありがとうございました。

